

2021年6月8日
 阪神高速道路株式会社

第16期(2021年3月期)決算の概要

1. 連結決算の概要

(単位: 億円、単位未満切捨て)

項目	2021年 3月期 (A)	2020年 3月期 (B)	増減		2022年 3月期 通期見通し
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)	
営業収益					
高速道路事業	1,832	3,597	▲ 1,764	▲ 49.0%	3,144
料金収入	1,601	1,781	▲ 179	▲ 10.1%	1,708
道路資産完成高 ^{(注)1}	225	1,808	▲ 1,583	▲ 87.6%	1,434
その他売上	5	6	▲ 0	▲ 9.6%	0
関連事業	133	108	25	23.5%	129
受託事業	75	57	17	30.8%	70
その他の事業 ^{(注)2}	57	50	7	15.1%	59
セグメント間取引消去	▲ 2	▲ 2	0	-	-
	1,963	3,702	▲ 1,738	▲ 47.0%	3,273
営業費用					
高速道路事業	1,838	3,592	▲ 1,753	▲ 48.8%	3,134
道路資産賃借料	1,200	1,375	▲ 174	▲ 12.7%	1,242
道路資産完成原価 ^{(注)1}	225	1,808	▲ 1,583	▲ 87.5%	1,434
管理費用	412	407	5	1.3%	457
関連事業	120	97	23	23.8%	122
受託事業	75	56	19	33.8%	70
その他の事業 ^{(注)2}	44	40	4	10.1%	51
セグメント間取引消去	▲ 2	▲ 2	0	-	-
	1,956	3,686	▲ 1,730	▲ 46.9%	3,257
営業利益					
高速道路事業	▲ 6	4	▲ 10	-	9
関連事業	13	11	2	20.5%	7
	7	15	▲ 8	▲ 54.0%	16
経常利益	11	21	▲ 10	▲ 47.6%	11
親会社株主に帰属する 当期純利益	0	13	▲ 12	▲ 94.5%	6

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を含んでおります。

3 2022年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

(参考)2021年3月期の個別業績

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	2021年 3月期 (A)	2020年 3月期 (B)	増減		2022年 3月期 通期見通し	
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
営業収益	高速道路事業	1,827	3,590	▲ 1,763	▲ 49.1%	3,143
	料金収入	1,601	1,781	▲ 179	▲ 10.1%	1,708
	道路資産完成高	225	1,808	▲ 1,583	▲ 87.6%	1,434
	その他売上	0	0	0	43.4%	-
	関連事業	90	72	17	23.7%	86
	受託事業	75	57	17	30.8%	70
	その他の事業	14	14	▲ 0	▲ 3.7%	16
	1,917	3,663	▲ 1,746	▲ 47.7%	3,230	
営業費用	高速道路事業	1,847	3,600	▲ 1,752	▲ 48.7%	3,138
	道路資産賃借料	1,200	1,375	▲ 174	▲ 12.7%	1,242
	道路資産完成原価	225	1,808	▲ 1,583	▲ 87.5%	1,434
	管理費用	421	415	5	1.4%	461
	関連事業	86	68	18	26.8%	83
	受託事業	75	56	19	33.8%	70
	その他の事業	11	11	▲ 0	▲ 6.2%	12
	1,933	3,668	▲ 1,734	▲ 47.3%	3,222	
営業利益	高速道路事業	▲ 20	▲ 9	▲ 10	-	4
	関連事業	3	4	▲ 1	▲ 22.3%	3
	▲ 16	▲ 5	▲ 11	-	7	
経常利益	▲ 10	4	▲ 14	-	2	
当期純利益	▲ 10	2	▲ 13	-	1	

(注) 2022年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。